

平成22年度第5回経営協議会議事要録

日時 平成22年11月16日(火)10時

場所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出席 学内委員5名 欠席1名

学外委員4名 欠席2名

会議成立

開会10時

議事に先立ち、学長から挨拶の後、総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

次いで学長から前回の本協議会(10月26日)以降の状況等として以下の事項について説明があった。

1. 11月1日に開催された国立大学協会総会において、理事会の状況報告等があったこと。

総会では平成23年度予算編成にあたり、運営費交付金の拡充、国際的に開かれた大学づくり等の実現を図るよう求める決議(「強い人材、強い大学、元気な日本」)が行われたこと。

文部科学省の概算要求関連では、政府の設定した特別枠要望額約8,600億円の計上に対して、約1,700億円が前倒しで平成22年度補正予算として認められる可能性があること。本学では、基盤的設備等整備として要求していた「電動式移書架の機能回復」及び「子どもの体力・運動能力解析システム」(約5,500万円)が該当すること。

2. 政府が、平成23年度予算の配分で各省が政策を競い合う「政策コンテスト」の公開ヒアリングが11月10日に始まったこと。文部科学省関連では、特別枠のテーマにつながらない既存予算の要求も指摘されるなど厳しい状況にあること。

3. 政策コンテストに省庁が出した要望189事業についての「パブリックコメント」の応募結果については、文部科学省関連は学生や若い世代が多かったこと。(詳細は内閣府のHPに掲載)。本学として、意見や現状に対してきちんと対応していきたいこと。また、このパブリックコメントに対しては、学生、職員だけでなく附属学校を含む保護者からも反応があったこと。

4. 平成21年度に係る業務の実績に関する評価結果が正式に通知され、内容は前回の本協議会で配付された資料(原案)と同じであったこと。説明事項は以下のとおり。

全体評価の内容、項目別評価として、業務運営・財務内容等の状況、教育研究等の質の向上の状況についての各々の評定及び結果(業務運営は「おおむね順調」、その他は「順調」)

議 題

1. 平成22年度第4回経営協議会議事要録の承認について
学長から提議され、原案どおりこれを承認した。

2. 平成22年度人事院勧告に係る本学の対応について

学長から提議され、折出委員から資料に基づき8月10日に人事院から勧告された国家公務員の給与勧告の改正内容（本給，年間給与の調整，賞与等）及び本学の対応案について，説明があった。

これに対して，委員から中高齢層（40歳台以上）と若年・中堅層（43歳未満）の違い，現行と改正後の給与の差額が分かる表の提示，個人評価を給与に反映させることの必要性等について質疑応答があり，別途，追加資料を送付することとし，本件を承認した。

報 告

1．国立大学法人愛知教育大学の平成21年度に係る業務の実績に愛知教育大学に関する評価結果について

学長から，評価結果については議事に先立ち報告を行ったため，割愛することとしこれを了承した。

関連して，平成23年度教職大学院の入試状況としては定員充足に向けて第2次学生募集を行うことで対応したい旨の説明があった。

また，大学設置・学校法人審議会による今年度の履行状況調査（AC：アフターケア）があったこと及び学生インタビューでの意見や調査内容について紹介があった。

2．経営協議会の持ち回り形式による開催について

学長から，本協議会の開催は原則として対話形式で行いたいが，今後，審議期限が迫った場合や日程調整が困難な場合については，各委員に対し本学関係者が説明に出向き，承認を得る持ち回り形式によることとしたい旨諮られ，検討した結果，これを了承した。

なお，委員から持ち回りで意見を求める際に，学長として大学の方針をペーパーとして添えることの依頼があり，これを了承した。

3．次回開催日について

総務課長から，次のとおり報告があった。

第6回

日 時 平成22年12月10日（金）13時～15時

場 所 KKRホテル名古屋 蘭の間

議事終了後，学長から，来年度予算原案の本協議会での審議は，1月になり，学内的には5%減を想定して対応していきたい，また，必要に応じて地方自治体からの支援等について，他大学とも相談していきたいこと，今年度利益剰余金による目的積立金の扱いについては，11月1日の国大協総会において，磯田高等教育局長より，第二期においても第一期と同様の扱いとなるのが原則であること，科研費の新規応募数は11月10日現在で138件（昨年77件）と約2倍に増えたこと等について報告があった。

次いで，委員から定年制延長については今後の教員採用数に大きな影響を及ぼすこととなるので，大学においても議論していくことの必要性について意見が出された。

閉会 15時10分